

平成30年度 第1回 つくばみらい市総合福祉施設きらくやまふれあいの丘設備等
あり方検討会

【会議録】

●日 時：平成31年3月25日（月）午前10時～

●場 所：きらくやますこやか福祉館 介護研修室

●出席委員：市民団体等の代表者

荒井 栄司 （つくばみらい市身体障がい者福祉協議会長）

下鳥百合子 （つくばみらい市高齢クラブ会長）

重松 剛 （つくばみらい市文化協会会長）

学識経験者

染谷 礼子 （つくばみらい市議会議長）

公募による者

宮島 孝明 （元市民生委員児童委員協議会長）

文随 靖市 （子ども会育成連合会長）

その他市長が必要と認める者

中山 和広 （つくばみらい市保健福祉部長）

張谷 昌彦 （つくばみらい市財政課長）

●欠席委員： 吉田 弘之 （つくばみらい市教育部長）

1. 開会（午前10時00分）

2. 委員出席状況報告

3. 委員長あいさつ

4. 協議

（1）「世代ふれあいの館」設備等の改修計画（案）について【資料1】

【質疑等】

委員意見：5年リースについては、単純に月額に12か月を掛けたものが1年間の金額と見て良いのか。

事務局：はい、そうです。

委員意見：休館するのはいつで、どのくらいの期間になるのか。

事務局：単純に機器の更新というわけではなく、設計・調査・工事という流れで、全体で半年間を見込んでいます。工事をするたび半年ずつ休館するとなると、利用者にとっては非常に不便なので、3区分を同時に修繕することができれば、半年間でできるのではないかという検討結果に至ったもの。

委員意見：半年間休館するのを3回繰り返すということか。

事務局 : そうではない。委員の皆様から、1度で終わらせるのが一番いいのではないかという意見が出たことによる。

委員意見 : 時期としては、具体的に何月から何月までになるのか。使用頻度が高い月もあるので、利用の少ない時がいいと思う。具体的に決まっているのか。

事務局 : これだけの改修工事となると、入札を経ての工事となってくる。それがスケジュールの基となってくるが、一番いいのは委員からご意見頂いたように、利用の少ない時に集中してできればいいと思う。発注に3か月、工事で3か月の6か月を見込んでいます。

委員意見 : 月額は、単純に12か月で割っただけで、特に意図はないのか。

委員長 : 5年リースなので、60か月で割っている。

委員意見 : 舞台機構設備の参考見積額欄で、3年目の滑車類更新と4年目のワイヤー交換は、連動しているから一緒にやった方がいい。

委員長 : 先ほど説明したように、最初は予算の関係上、5年かけてという話だったが、休館期間が長くなると利用者にとって不便をきたすということで、舞台設備も照明も音響も全部一度に半年間で工事したほうがよいということになった。しかし、一括で支払うのは大変なので、リースで支払う案にした。参考見積額の1年目とか2年目とかは気にしなくていいと思う。

委員意見 : 総額約4億5千万円になるが、リースにすることで約1億1210万円も増える。これだけの利息がかかるというのは、しかたがないことなのか。

事務局 : これはあくまで事務局案であって、今後財政課との協議が必要である。委員のおっしゃるように、利息を考えるとすれば一括で払った方がいいという話になるかもしれないし、1度の負担は市には無理だということであれば、利息を含めて総額の支払いは大きくなるが、5年間で支払った方がいいという結論が出るかもしれない。まずは1つの案を皆様にご検討頂くために提案している。この委員会で何か決まったとしても、最終判断は市がするので、最初に申し上げたように、その手法については確約できるものではない。

委員意見 : 見積額はほぼ決定だが、検討結果の方の金額は支払い方法によって変わってくるということか。

事務局 : 我々は1度の工事で全て改修と考えているが、まずは初年度に舞台機構設備、次年度に舞台照明装置、3年目に音響装置という結論が出るかもしれない。

委員意見 : その方が安いのか。

事務局 : そうではない。我々としては、休館期間を毎年半年間ずつ設けるのは、利用者に対し申し訳なく思うので、1度にやりたいということでご提案はしたが、市の財政状況を考えた時に1度には出来ないという判断が出た時には、今仮に申し上げたように、年度を分けて整備をするという決定がなされる可能性もある。一番に利用者のことを考えた時にこういう改修がいいのではないかとということで、今回ご提案をさせていただいた。最終的には市の判断が必要になる。

委員意見：今回の検討結果を受けて、リースがいいのか一括がいいのか、行政の立場からも社会福祉課と財政課でよく協議するよう希望する。ただ、一括といっても何億もかかるものであるし、改修なので国の補助金もなく、一般財源で対応するしかない。リースも5年がいいのか、もっと長い方がいいのか、いろいろと検討協議する必要がある。施設が使えなくなってしまうのが一番大変なので、その前になんとかしたいと考えている。

事務局：リース期間について言及があったが、我々も最初は7～10年のリースで試算しようとした。しかし、自治体によっては長いところもあるが、物品の耐用年数を考えて5年というのが基準のようである。最長で5年のリースということで考えていかないといけない。

委員長：それは今後の検討内容による。

事務局：そうではあるが、市の財政を考えて2年や3年でいいという意見が出るかもしれないし、もっと長くという意見が出るかもしれない。1つの考え方を今回提案させて頂いた。

委員意見：改修時期について、現在行っている空調設備工事の工期は3月から9月までの半年間である。文化協会では舞踊部とカラオケが、毎年6月から8月にかけて発表会をやっている。舞踊部に関しては毎年6月と12月の2回開催で、今回6月に開催できないのは事前にわかっていたので、今年は前倒しで2月に開催した。事前にわかれば臨機応変にできるとは思うが、毎年半年間ずつ使えないとなると非常に不満が出ると思う。文化祭のある11月は避けなくてはならない。時期的には3～9月にされたほうがよろしいと思う。

事務局：参考にさせて頂く。

委員長：空調工事もそれを見越して、文化祭に間に合うように今の時期になったのではないか。次の改修をする時にも、一番大事な文化祭に間に合うような日程の調整が必要である。

事務局：それもあるが、壊れてしまったので補正予算をお願いし、それが通って、今回たまたま3～9月までの休館を要する期間となったというのがある。計画的に進める時には、委員長のおっしゃったように文化協会等の予定を考慮する必要も出てくるかもしれないが、今回の空調工事は利用者のスケジュールを先に考えるのではなく、早く直すためのスケジュールということで、市議会との関連もあり、この時期に決まった。

委員意見：世代ふれあいの館でやっている舞踊発表会等は、どこか他の施設で開催という方法は考えていないのか。使えない期間にはどこか違う場所、例えば中央公民館等を代替案として利用者にお知らせすることはしないのか。

事務局：私共は施設を利用して頂く側なので、違う施設を検討して頂くということになると、文化協会なりが中心になってご検討頂くことになろうかと思う。全く違うところで、世代ふれあいの館の方を利用されたお客様の声で、「坂東市のベルフォーレをいつも使っていたが、何かの関係で初めてこちらの施設を利用し

た。」という団体もあった。市内の団体であれば、市のどこかの施設を代替えで使い、時期をずらさずに開催することが可能であれば、早めにこちらとしてもスケジュールをお示ししたいと思うので、代替え施設もご検討頂ければと思う。

委員意見：開催するものの内容に合わせた代替え施設の案内はしないのか。

事務局：それぞれの規模等もあるので、やはりその団体さんが熟慮されて、市内の施設にお問い合わせされたほうがいいのではないかと思う。

委員意見：舞台装置について、緞帳等を新調すると思うのだが、ここにスポンサー名を入れる考えはないのか。公共施設でも、緞帳にスポンサーを募ってお金を得ているところもあると思う。費用負担軽減のために、ネーミングライツ等の収入を得るような案も考えていった方がいいのではないか。

事務局：只今の意見は検討材料とさせて頂きたいと思う。ありがとうございます。

委員意見：舞踊部は、照明やその他いろいろなものが必要となるので、中央公民館や谷和原公民館では設備が整っておらず、開催することは無理だと思う。開催するとすれば、岩井のベルフォーレ等の施設を借りるしかない。舞踊部に関しては2月に開催するというで落ち着いているが、それが毎年になってしまうのは避けてあげなくてはいけないと思う。カラオケあたりは照明を使わないので、開催すると思えば谷和原公民館でも中央公民館でも可能である。

委員意見：使えない間はどうすればいいのかという話になっているが、皆さんによりよく使っていただくために、ご不満のないよう改修するわけだから、利用者はそのところを考えて、自分たちで市に代替えの施設を問い合わせるとか、どこか他の施設を使うとか検討してもらえないか。そこまで我々が心配することではないと思う。問い合わせがあれば他の施設を紹介するくらいならいいが、半年我慢すれば、改修されて良くなるのだから、今から考えすぎなのではないか。

委員長：そこは利用者にも理解して頂きたいということか。

委員意見：方向性が決まれば、5月総会あたりで説明したいが、まだ話す段階にない。ただ舞踊部は、12月に開催してまたすぐ2月に開催しているので、同じ演目で公演したところもあるようだ。

委員長：そういう団体さんには、改修前に説明があると思う。

委員意見：世代ふれあいの館は多くの方が利用されるので、安全性を第一に進めて頂きたい。閉館している期間をできるだけ短くして、一度に整備をして頂くということで私はいいいのではないかと思う。先ほどのリースの話も、できれば一括が一番いいのだろうが、財政課の方としっかり検討して頂きたいと要望したいと思う。音響装置について、改修案2を選択されたということで、改修案1と2では3千万円ほど差があるが、この違いは何か。

事務局：改修案1と2については、既存設備よりも少しグレードを抑えたもので、このくらいなら大丈夫ではないかというところを見出していったところでの差額となっている。

委員意見：ここは音響がいいということで利用される方も多いので、そのへんの心配はないか。

事務局：現在の規格から大きく変わるものではない。対応は可能かと思う。

委員意見：参考意見として、守谷にある公民館より、音響に関してはふれあいの館の方がいいと聞く。悪いところを直すだけで、グレードを上げる必要はないと思う。

事務局：職員が操作する上で、手動か自動かという違いが大きいと聞いている。

事務局：世代ふれあいの館の音響装置は、プロが使うようなものが揃っている。この部分は自動でできるものもあるが、値段を下げるとそれを職員が操作しなくてはいけない。そこが金額的に大きく違ってくるので、職員には負担をかけるが、手動でやってくださいというのがグレードを下げたものとなる。音の質としては下がることはない。機械が安くなるか高くなるかの違いだけである。

委員意見：今日は出席していないが、社協の職員が今まで手動でやってくれていた。彼が、「自動にすれば楽にはなるだろうが、3千万円の差が出るのであれば、手動でもできなくはない。」と言っていた。

委員意見：手動にすれば3千万円安くなるという事か。

事務局：手動にするだけで3千万円下がるというわけではなく、機器のグレードを単純に1つ下げるとこれだけ安くなる、というものの積み重ねになってくる。

委員意見：3千万円を60か月で割ると、月に50万円の支払いとなる。人件費としても十分余るぐらいなので、グレードを下げて1人従業員を増やしてもいいのではないか。

委員意見：委員会の検討結果としては、既に下げるということで決まったと思う。

事務局：はい、そうです。

(2) その他

事務局：平成28年度から開催してまいりました、つくばみらい市総合福祉施設きらくやまふれあいの丘設備等あり方検討会も本日が最後となります。これまでの会議でいただいた貴重なご意見をもとに、事務局で検証を行ってきた結果につきまして、あり方検討会から市に対する要望書という形で提出させていただき、今後も予算要望してまいりたいと社会福祉課では考えております。つきましては、この後に要望書の協議につきましてお願いをいたしたく、準備のお時間をいただきたいと思います。

委員長：暫時休憩を宣言する。

事務局：【資料】つくばみらい市総合福祉施設きらくやまふれあいの丘世代ふれあいの館設備等改修についての要望書【別紙】を配布する。

委員長：協議を再開します・

事務局：資料説明

【質疑等】特になし。

5. 閉会